

施策評価表

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（課長等）	30年 10月 1日
2次評価日（部長等）	30年 10月 1日

1 施策の概要

施策名	住宅・宅地の整備	コード	13-3
この施策の主な内容（細施策）	(1) 宅地の整備 (2) 住宅の整備 (3) 住環境の整備		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	計画的な土地利用に基づく宅地開発、少子高齢社会に対応した住宅の確保や地域の状況や需要に応じた市営住宅の管理を行い、人口定着と市街地の活性化を図る。		
担当部課	部 建設水道部	課等 都市計画課	作成者 小口智行

●施策の実施内容 (D0)

2 施策指標の達成状況

* 第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

施策指標名	単位	27年度	28年度	29年度			30年度	31年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 住環境の改善	件	191	228	258	260	100.8%	300	
指標説明	狭あい道路の累計指導件数							
②						-		
指標説明								
③						-		
指標説明								

3 施策全体にかかる合計コストの推移

* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）
直接事業費	73,290	64,050	79,943	83,840
人件費	14,560	14,320	17,840	17,840
合計コスト	87,850	78,370	97,783	101,680

●施策の評価 (CHECK)

4 施策の現状評価

* 29年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

市営住宅管理は、長野県住宅供給公社に管理代行及び管理委託を行い4年目となるが、効率的な業務遂行ができています。
耐震診断事業の診断件数は9件であり、推定耐震化率は74.9%（H29年度末）となる。耐震改修促進計画も見直しを行い28年度から32年度へ延長となった。

* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	産業振興に力を注ぎ、働く場の確保、人口定着を図っている。 可住地面積が狭く、投資効果、効率が高い。
岡谷市の弱み	人口減少、高齢化社会の進行による市街地の空洞化（空き地、空き家の増加）

5 今後の外部環境の変化

* 30年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で継続的な社会の創生に向けた取り組みが展開され、住生活環境の整備が望まれている。
不利に働くもの	生活様式の変化、価値観の多様化により、画一的な住環境整備が難しい。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成31年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	市営住宅管理事業は、長野県住宅供給公社の管理ノウハウを活用し、住民の利便性の向上を図ると共に、経費の節減、効率的な運営に努める。 耐震診断事業は、地震災害時における住宅の倒壊被害の低減、緊急輸送路の閉塞防止と市民の生命と安全を守るための重要な事業であり、積極的に周知し、耐震化率の向上を図る。 「岡谷市空家等対策計画」に基づき、空き家の利活用や除却に向け積極的に対応していく。
見直しを行う分野	

●31年度の優先度

* 方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標				妥当性	方向性	優先度
							27年度	27年度	27年度	27年度			
1		公共施設		市営住宅管理事業	年間利用件数	件	502	72,525	8,000	標準	継続して実施	B：現状維持	
							491	61,984	8,000				
							478	77,867	8,000				
							501	79,738	8,000				
2		一般		耐震診断事業	耐震診断件数	件	15	585	960	高い	継続して実施	B：現状維持	
							27	1,728	1,520				
							9	576	1,440				
							30	1,920	1,440				
3		一般		空き家対策事業	C物件空家の改善数	件	1	180	5,600	高い	新規事業	A：拡大	
							2	338	4,800				
							9	1,500	8,400				
							5	2,182	8,400				
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													